

# お薬と腎機能の関係

## ～今日の検査値、確認しましたか？～

お薬は適切な量を使用することで病気を改善する（効果）一方で、好ましくない影響（副作用）を及ぼすことがあります。血液検査により、適切な量の確認や好ましくない影響をいち早く察知することができますので処方せんと検査値を合わせてお出してください。

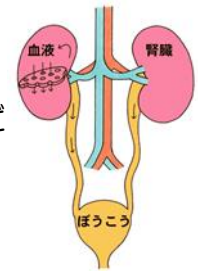
今回は腎臓の機能と薬の影響について解説します。

### 〈腎臓の機能とお薬の関係〉

- 腎臓には、血液中の老廃物などをろ過して、尿として体の外に排出する働きがあります。お薬の種類によっては、体内に入ったお薬も、腎臓の機能により老廃物などと一緒に尿として体の外に排出されます。腎臓の機能が落ちている場合は、お薬が体の外に排出されず、好ましくない影響（副作用）がでる可能性があるため、腎臓の機能によってお薬の量を調節することがあります。

### 〈腎臓の機能を見る検査値はなにがあるの？〉

- 血液検査：血中尿素窒素（BUN）、血清クレアチニン（Cr）、eGFR など
- 尿検査：尿タンパク など



### 〈どんなお薬で腎臓の機能が落ちる事がありますか？〉

- 解熱鎮痛薬、抗菌薬、高血圧治療薬、造影剤など



### 〈どんなこと（症状）に注意したら良いの？〉

- 「尿量が少なくなる」、「ほとんど尿がでない」、「一時的に尿量が多くなる」、「発疹」「むくみ」、「体がだるい」などの症状が見られた場合で、お薬を服用している場合には、放置せずに、すぐに医療機関に申し出るようにしてください。  
※個人によって症状の出方は異なり、症状が出ないこともあります。



〈参考〉重篤副採用疾患別対応マニュアル 第1集、発行(財)日本医薬情報センター(JAPIC)・発行協力(社)日本病院薬剤師会

監修：新宿区薬剤師連携協議会

作成日：2019年5月（初版）